

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 10 日 更新

事務事業名		し尿運搬費補助事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	合志 義浩	
	施 策	18	住環境の充実				所属課	環境衛生課	担当者名	大久保 隆一	
	施策の柱	56	環境衛生の充実				所属班	環境衛生班	(内線)	1142	
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11474	根拠法令	合志市し尿運搬費の補助に関する条例			
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	昭和60年にし尿関係事務を市町村で行うことになり、市外で処理するため収集運搬費の助成が必要となった。収集したし尿をクリーンセンター花房まで運搬した量に応じて補助金を交付する。※令和5年度より補助額10Lにつき40円（税別）下水道の整備がほぼ完了し汲み取り世帯が減少している一方で、新設の合併浄化槽も増えてきており、し尿の量は横ばいとなってきている。
【業務の流れ】	請求書受付、量の照合、支払事務
【主な予算費目】	報償費、役務費、負担金補助及び交付金（補助金）
【意見や要望】	し尿取り業者より、手数料等の改定(値上げ)の要望があっているため、令和5年度に改定の検討を実施した。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) し尿収集運搬業者に補助することで、円滑な事業運営が図られた。令和6年3月末のし尿運搬実績は約2,383KL。 長年見直しがされていなかった「し尿収集運搬手数料」の改定を検討するため、委員会を立ち上げ、会議を2回開催した。検討委員会での結果を踏まえ、令和5年12月議会に手数料改定の条例改正案を上程し、可決された。令和6年7月より新手数料にて収集を開始する予定。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 請求書受理、量の照合、支払事務。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由 し尿収集運搬手数料改定検討委員会を開催しないに伴う報償費及び役務費の減	
→ ア 請求件数	イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 取扱業者	(単位) 業者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		→ ア 取扱業者数	
		イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) し尿を適正に処理する	(単位) KL	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
		→ ア し尿収集量	
		イ	
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 収集運搬するし尿の量に対し補助金を交付する事業のため、成果指標を「し尿収集量」とした。成果指標の目標値の設定については菊池広域連合広域計画から計上した。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 件		12	12	12	12	12	12	12	12
	イ									
② 対象指標	ア 業者		1	1	1	1	1	1	1	1
	イ									
③ 成果指標	ア KL		2,278	2,299	2,190	2,383	2,180	2,170	2,160	2,150
	イ									
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	5,011	5,058	10,059	10,521	9,878	9,757	9,467
			千円	5,011	5,058	10,059	10,521	9,878	9,757	9,467
			千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	(A) のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	4	3	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間		時間	70	170	240	488	240	240	240
	(B) 人件費計		千円	273	647	956	1,777	956	956	956
			千円	5,284	5,705	11,015	12,298	10,834	10,713	10,423

事務事業名	し尿運搬費補助事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 し尿収集運搬量の照会をしているので、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 し尿収集量に応じた補助金を交付しているので向上の余地は無い。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 下水道の普及により収集量が減少し補助金額が減っていたが、昨年度浄化槽設置者のうち、定期点検および清掃等を行っていない世帯に対し通知等を行ったため浄化槽汚泥の量が増えた。 一定期間周知をし、適正管理が浸透すれば搬入量の減少による事業費減が見込まれる。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 支払関係事務のみであり、これ以上の削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 一般廃棄物のし尿収集運搬は市が行う業務である。 し尿の処理施設が市内にないため、市外の処理施設まで運搬に対する補助金の交付は適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 一般廃棄物であるし尿収集運搬は市の業務であるため適切である。

3 評価結果の総括（CHECK）

年間を通じてし尿運搬量に応じた補助金交付を確実に行った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												